

平成26年度予算見積調書

課室名：森づくり課
 担当名：間伐・森林循環担当
 内線：4321

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B69	美しい森づくり事業			一般会計	農林水産業費	林業費	造林対策費	森林整備推進事業費	
事業期間	平成14年度～	根拠法令	森林法193条、森林・林業基本法6条			戦略項目	10	みどりと川の再生	
						分野施策	030202	収益を生み出す林業の振興	
1 事業概要 針葉樹や広葉樹の育成等による多様な森林整備を促進し、森林の持つ水源かん養機能及び二酸化炭素の吸収・貯蔵機能などの公益的機能の増進を図る。また、針葉樹の間伐等により花粉削減対策を推進するとともに、火災等から森林を守り、健全な森林を育成する。			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 森林循環支援事業 58,383千円 森林の循環利用と花粉削減対策のため、搬出間伐を実施する。 イ 森林整備事業 41,777千円 植栽、下刈・枝打などの保育の総合的な森林整備を実施する。 ウ 森林保全事業 395千円 山林火災に備えるため、ジェットシューター(背負式水囊)を購入・配備する。 エ 検査指導費 4,159千円 検査指導のため事務費 オ 森の若返り実行支援事業 1,244千円 高齢林の伐採後、再造林により若い森を造成する。						
2 事業主体及び負担区分 別紙1 事業内訳表のとおり			(2) 事業計画 今後、森林の循環利用を推進するとともに、森林施業の集約化や路網整備を通じて施業の低コスト化を図っていく。						
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)林野行政費 (細目)森林整備保全費 (細節)森林整備保全費 (積算内容)造林関係			(3) 事業効果 ア 国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、公衆の保健、地球温暖化の防止、林産物の供給等の森林の持つ多面的機能の発揮を促進する。 イ 搬出間伐により生産される丸太の販売により、地域経済の活性化が図られる。 ウ 高齢林の伐採・再造林をすることで、森の少子高齢化問題についての意識醸成を図るとともに、高齢林に偏った林齢構成の平準化を図るきっかけとする。 以上による森林整備面積 目標1,100ha(平成23～27年度) 実績484ha(平成24年度末)						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×9.9人=94,050千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		国庫支出金							
決定額	105,958	70,034						35,924	9,912
前年額	96,046	62,444						33,602	